

海外展開・活動事例



文化観光スポーツ部 交流推進課

OKINAWAから沖縄へ！ ゆいまーる牧場（石垣市）

- ▶ 石垣牛などを生産・販売する農業生産法人ゆいまーる牧場（石垣市、金城利憲会長）は、ボリビアの県系人移住地「コロニア・オキナワ」から牛の飼料用として大豆の直輸入を開始
- ▶ ボリビア在住の県出身者（島袋正克氏）が立ち上げた貿易会社から約20 t / 1回の大豆を輸入を開始。今後も月1回のペースで継続予定
- ▶ 本取り組みにより輸入コストを40%削減（これまでは県外商社から120円/1kgで買い取り、本取り組みにより72円/1 Kgに）
- ▶ 定期輸入により石垣の農家を巻き込みたいとの金城氏の意向。

【参考：2020年5月12日 沖縄タイムス】

ボリビアからの飼料用大豆を受け取る金城利憲会長（左）4月30日、那覇市



牛の飼料 ボリビア直輸入

ゆいまーる牧場、県系移住地から

運送費4割減

石垣牛などを生産・販売する農業生産法人ゆいまーる牧場（石垣市、金城利憲会長）は、ボリビアにある県系人移住地「コロニア・オキナワ」から牛の飼料用として大豆の直輸入を始めた。ボリビアから直接輸入することで運送費が4割減になった。金城会長は「輸送コストをカットすることで、畜産物の生産力アップにつなげたい」と期待した。ボリビア在住の県出身者の島袋正克さんが立ち上げた貿易会社「伊島」から、約20トンの大豆を輸入した。ボリビア産の大豆は船で40日かけて那覇に到着し、4月30日に初め

石垣牛などを生産・販売する農業生産法人ゆいまーる牧場（石垣市、金城利憲会長）は、ボリビアにある県系人移住地「コロニア・オキナワ」から牛の飼料用として大豆の直輸入を始めた。ボリビアから直接輸入することで運送費が4割減になった。金城会長は「輸送コストをカットすることで、畜産物の生産力アップにつなげたい」と期待した。ボリビア在住の県出身者の島袋正克さんが立ち上げた貿易会社「伊島」から、約20トンの大豆を輸入した。ボリビア産の大豆は船で40日かけて那覇に到着し、4月30日に初め

て那覇から石垣島へ輸送した。今後も月1回のペースで輸入を続ける予定だ。

同社はこれまで外国産の大豆などを県外の商社から1kg当たり約120円で買い取っていた。今回コロニア・オキナワから那覇を経由し、石垣島に直接運ぶことで輸送コストを削減でき、1kg当たり4割減の約72円で買い取ることができるようになったという。石垣は牧草を育てる環境が良く、子牛の生産に適している。しかし、肥育牛を育てるには牧草以外に大豆などほかから輸送が必要なため費用がかかる。金城会長は「物流のハンディを乗り越え、沖縄のブランド牛を増やしたい」と話した。

チリメーサーがアジアに行く！トマス技研（株）（うるま市）

- ▶ トマス技研（株）（うるま市 福富健二代表）が開発した廃棄物処理機能を内製化した小型焼却炉（チリメーサー）は、完全燃焼により黒煙やダイオキシンの発生を抑える機能を搭載。
- ▶ ダイオキシンについては法規制の50分の1に抑制
- ▶ 県内企業・自治体に70台以上納入、2016年からはJICAの中小企業海外展開支援普及事業に採択されインドネシア・バリの医療機関で10台以上の普及実証を開始、医療廃棄物の処理に成果を上げた。
- ▶ 九州離島、アジア、ハワイ、オセアニア等に販路拡大を目指す。
- ▶ 2020年には医療廃棄物に触れずに焼却炉に投入できる「メディカルチリメーサー」を開発。
- ▶ コロナ渦における医療分野への貢献が期待される。

【参考：2020年4月14日 琉球新報他】



トマス技研（株）金城氏



沖繩の技術で世界に貢献 レキオソフト（株）（那覇市）

- レキオソフト（株）は、JICAの「中小企業・SDGsビジネス支援事業」の支援を受け、2019年から2020年6月までの期間、ペルーにおいて同社が開発した早期地震探知システムの現地導入に向けた調査を実施。
- JICAが創設を推進したCISMID（日本・ペルー防災センター）をはじめ、ペルーの防災行政に携わるIGP（環境省地球物理庁）やINDECI（国家防災庁）とも連携し、現地受注に向け取り組んでいる。

【参考：2020年3月20日 琉球新報】



レキオソフト（株） 柴寄氏

沖縄県・OISTとの連携/海外事務所・県人会との連携

沖縄県×OIST

- ▶ ペルー出身のタケシ・ヤギ氏は県系4世、リサーチインターンシップを経て、現在OISTで核酸化学の分野で博士課程に在籍
- ▶ 沖縄県では、OISTとの連携により、県系子弟留学生受入事業において新たにOISTをインターンシップ先として追加(2019～)

OIST 沖縄科学技術大学院大学

“Coming to OIST allowed me to reconnect with my roots and experience Okinawa firsthand, while progressing in my academic and professional development as a scientist.”

Takeshi Tabuchi Yagui

4th Generation NIKKEI Uchinaanchu

- Received bachelor's degree in Genetics and Biotechnology at UNMSM, Peru
- Participated in OIST Research Internship
- Currently working as a PhD Student at the Nucleic Acid Chemistry and Engineering Unit

Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University (OIST) Fully-Funded Research Internship

- Airfare, housing, and daily stipend provided
- 2-6 months research internship in Okinawa
- Expand your scientific career in a diverse campus, equipped with cutting-edge facility and laboratories

Interdisciplinary Research Opportunities

Non-departmental university structure

World-class Faculty & Researchers

- 65 Faculty Members
- 60% from overseas

About 80 Interns from worldwide accepted to the program every year

Visit: <https://admissions.oist.jp> for details
Contact: admissions@oist.jp for inquiry

上海事務所×上海県人会

沖縄企業×日本人留学生（既卒者）・中国人日本語人材 2019交流会

- ▶ 在中国の日本人留学生及び日本語専攻学生等の中には、沖縄で働きたいという声も多い。
- ▶ 県人会で交流の場を設定し、上海と沖縄の橋渡しを行う。
- ▶ 参加企業・学生数 (2017: 10企業 51名、2018: 15企業 41名)

